

令和2年度（2020年度）

<p>試験区分</p>	<p>特別選抜（共通）</p>
<p>学部学科</p>	<p>国際政策学部 総合政策学科 国際政策学部 国際コミュニケーション学科</p>
<p>教科科目等</p>	<p>小論文</p>
<p>出題の意図</p>	<p>国際政策学部は、地域社会の活力ある豊かな発展に貢献するとともに、平和で豊かな国際社会の形成のために行動できる人間、すなわち「行動する国際人」の育成を目指している。入学者には、本学部のこうした理念・目的への理解と志向に加え、「行動する国際人」に必要な「学修のための基礎的能力」と「論理的・創造的な思考を表現できる能力」が求められる。</p> <p>今回の小論文では、私たちが生きる地域社会と国際社会に多様に存在し、配慮も求められている“食文化、に着目し、そのなかでも捕鯨と鯨肉食を主題とした。この問題設定により、地域社会と国際社会の双方についての基礎的な知識を有しているか、問題を的確に把握する能力があるか、自らの思考を整合的に表現する能力があるか、などを問うた。</p> <p>採点においては、問題文に示された考え方の対立構図を理解しているか、設問のすべてに適切に解答しているか、解答が論理的に書かれているか、独自の着眼や創造的な発想が見られるか、といった点を基準に評価を行なった。</p>